

金属プレス技能検定 学科対策講習会開催

～技能検定突破を目指す受講生が集合～

8月6日、高崎市・ニューサンピアにおいて、群馬県金属プレス工業会（池田光男代表幹事、正会員97名、賛助会員8名）の会員企業の従業員を対象に、金属プレス技能検定学科対策講習会を開催した。

昨年度開催した同様の講習会が好評であり、再度の開催を希望する声が多かったことから、一級技能士の坂上嘉孝氏を講師に迎えて実施されたもので、同工業会会員企業より16人の出席者が講習に臨んだ。

金属プレス技能検定は、プレス機械による金属薄板の加工に必要な技能を国家資格として認めるもので、合格者には「金属プレス加工技能士」の称号が与えられる。等級には、1級（上級技能者）及び2級（中級技能者）があるが、今回の講習会は、2級の学科試験合格を目指すもの。

検定試験では、学科、ペーパーテストによる実技、実際にプレス機を使って行う実技が課されるが、今回の講習会では、昨年度同様、前二者について集中的な講義を行った。

講師として登壇した坂上氏は、

随時、自身で作成したレジュメを参照しながら、過去の技能検定試験で出題された「学科試験問題」「実技試験（ペーパーテスト）問題」を用いて、実際の問題を解きながら受講者の理解を促していた。



坂上嘉孝氏

最後に、技能検定の「学科試験」「実技試験（ペーパーテスト）」は、過去に出題された問題と似た問題が数多く出題されており、過去問を繰り返し解き、復習することが一番の試験対策となる旨強調し、講習会を締めくくった。

昨年度は、本講習の受講生が検定試験に合格した実績もあるだけに、本年度の技能検定試験（8月25日実施）が目前に迫る中、受講者は、皆真剣な表情で坂上氏の話に聞き入っていた。

官公需確保対策地方推進協議会開催



8月9日、群馬県庁において、官公需確保対策地方推進協議会が53名の出席を得て開催された。

まず、関東経済産業局産業部中小企業課堀之内稔課長補佐が「平成25年度の中小企業者に関する国等の契約の方針」について説明。この中で、「中小企業・小規模事業者向け契約目標額は、昨年より3,590億円増の4兆1,902億円となっており、各府省等の長、各都道府県知事、政令指定都市、特別区及び特別市の長宛に、経済産業大臣名で中小企業者の受注機会の増大等について要請している」と説明し、官公需適格組合制度の活用についても周知に努めていくと述べた。



堀之内稔課長補佐

次に、群馬県産業経済部産業政策課萩原徹企画調整係長が、群馬県における中小企業者のための

官公需確保対策等について説明。「県内の経済概況は自動車関連が好調であるものの、中小企業については依然厳しい状況が続いている中、「平成25年度がんばろう群馬！産業支援総合対策」をとりまとめ経済支援対策に取り組んでおり、中小企業向け官公需対策としては、中小企業向けの発注率の目標を90%とし受注機会確保に努めている」と述べた。



萩原徹企画調整係長

次に、本会の官公需関連事業として八木業務課長が①官公需発注情報の収集並びに提供、②官公需適格組合の指導及び制度普及、③官公需問題懇談会の開催、④官公需総合相談センターによる相談業務等について説明を行った。

次に、現在、県内で官公需適格組合の証明を受けている19組合を代表して、協同組合群馬県消防防

災センター星野義夫理事長と協同組合前橋電気センター山内博之理事長が、官公需適格組合としての活動状況を説明した。



星野義夫理事長



山内博之理事長

星野理事長は、共同受注の状況や組合員各社の従業員の積極的な各種消防設備等資格取得による技術水準の維持強化策を紹介。

山内理事長は、前橋市内全域における防犯灯のLEDへの交換業務の受注実績や前橋市との防災協定における災害時の救援対策について説明を行った。